

キーの説明

電源オン/入力訂正/電源オフキー：電源を入れるときに使用します。計算中は置数ミスの訂正を行います。誤って入力した後にこのキーを1回押すと、入力中の数値がクリアされるので、正しい数値を入力しなおすことができます。2回続けて押すとメモリ内の数値を除く全ての計算をクリアします。オーバーフローの解除もこのキーで行います。このキーを2秒以上長押しすると電源をオフします。

印字オン/オフキー：このキーを押して「PRINT」が表示部に表示されると印字しながら計算を行います。印字をやめたいときは再度このキーを押します。

商売計算/税計算キー：商売計算モード(B)と税計算モード(T)を切替えるときに使用します。表示部に「B」が表示された場合は商売計算モードに設定され、「T」が表示された場合は税計算モードに設定されます。

紙送りキー：ロールペーパーを連続的に送ります。

税率/通貨レート設定キー：税率または通貨レートを設定するときに使用します。

※電源を切っても税率と通貨レートは保存されていますが、電池が外れたり、電池を使用していないときに突然電源コンセントが外れたりしたときはクリアされます。この場合は再設定してください。

※リセット操作をすると税率と通貨レートはクリアされるため、再設定してください。

メモリ/通貨換算キー：メモリ計算モードと通貨換算モードを切替えるときに使用します。通貨換算モードのときは「EX」が表示部に表示されます。

ノンアドキー：計算に直接関係ない数字(日付や整理番号など)を計算の途中に入れるときに使用します。

イコールキー：加減乗除算の結果を求めるときに使用します。

小数点桁指定キー：演算結果の小数点以下の桁数を指定するキーです。指定位置は、浮動小数点(表示なし)、小数点以下0、2、3、4桁の各桁と、A(アド・モード)です。

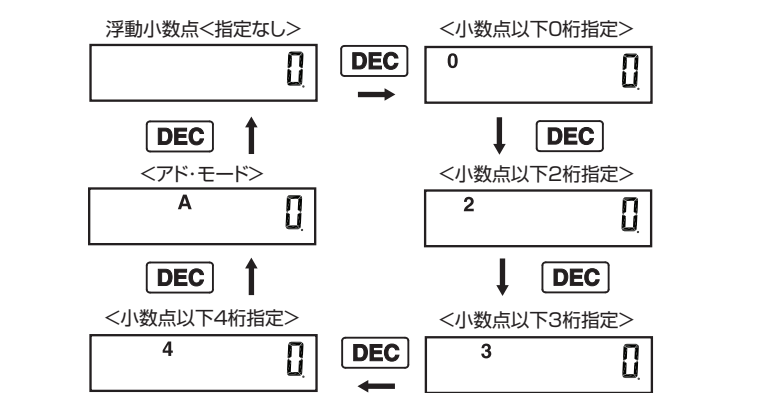
浮動小数点：小数部の桁数を指定せず、上位12桁以内の答えをそのまま印字表示します。

A (アド・モード)：加減算の置数の小数点位置を自動的に小数点以下第2位に設定します。●を押す必要がなく、ドル計算のときなどに便利です。

例：1.23 X 4.56 = 5.6088

小数点以下2桁指定(四捨五入)：5.61

浮動小数点：5.6088



5/4 四捨五入キー：演算の結果を求める時に、指定した小数桁の次の桁を切上げ(↑)、四捨五入(5/4)、切捨て(↓)のいずれかに指定するキーです。

例：5 ÷ 9 = 0.555...

(小数点以下2桁指定)

四捨五入：「5/4」表示：0.56

切捨て：「↓」表示：0.55

オーバーフロー

以下のようなオーバーフローが起きたときは●を押して解除してください。

- オーバーフローサイン(E)が表示されたとき
- 点線が印字され、すべてのキーの機能が働かなくなったとき(電子ロック)
- 以降の置数および演算機能が停止したとき

※オーバーフローは次の場合に発生します。

- 演算結果またはメモリ内容の整数部が12桁を超えた場合
- 除数が0の除算を行った場合
- バッファレジスタの許容範囲を超えたとき(キー入力バッファオーバーフロー)

安全にお使いいただくために

※次の場所ではご使用にならないでください。

- 直射日光や暖房などによって高温になるところ
- 湿度変化の激しいところ
- 湿気、ごみ、ほこりの多いところ
- 鉄粉などの多いところ

※プリンターには磁石類を使用していますので、クリップなどの金属片を内部に落とすことのないようご注意ください。

※本体が汚れたときは乾いた柔らかい布で汚れをふき取ってください。有機洗剤(シンナー、ベンジン)は絶対に使用しないでください。

※ロールペーパーが取り付けられていない状態では印字しないでください。

※本機の上、特にプリンターの上には重いものを置かないでください。

※本体を分解しないでください。万一、異常が感じられたら、販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

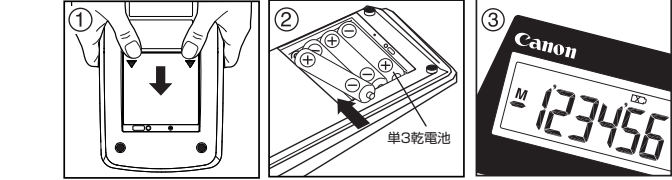
電源

■電池の入れ方(使用電池：単3形乾電池 x 4本)

電池交換の際には必ず電源を切ってください。

1) 本体裏面の電池カバーを矢印のほうに押し、取り外します。(図①)

2) 新しい電池を4本入れ電池カバーを取り付けます。(図②)



警告

- ※電池を交換する際は、小さなお子様が誤って電池を口に入れないように手の届かない場所で行ってください。万一、飲み込んだ場合ただちに医師にご相談ください。
- ※破裂や火災の原因になることがあります。
 - 電池を充電したり分解しないでください。
 - 電池を温度の高い場所に置いたり、直接加熱したり、焼却しないでください。

電池使用上のご注意

- 電池の極性(+、-)を間違えないように入れてください。電池の極性を間違えて入れると事故の原因となります。
- 本機は電池残量が不足すると、画面に「」アイコンが点灯し(図③)、表示部が薄く見えにくくなる、不規則な紙送りをする、印字速度が極端に遅くなる等の現象が起こります。正常な動作を続けるために、電源を切り速やかに電池を交換してください。
- 電池の残量が少なくなった状態で本機を使い続けると、誤操作が生じたり、保存したメモリが破損したり消えてしまったりすることがあります。大切なデータは常に書き留めるようにした上で、電池はできるだけ早く交換してください。
- 電池はあまり使用しない場合でも少なくとも2年に1回は交換してください。
- 液もれなどによる故障を防ぐため、長時間使用しないときや電池を使い切ったときは電池を取り出してください。
- 使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、お住まいの地域の廃棄基準に従って廃棄してください。
- 電池交換後は必ず本体裏面のRESETスイッチを押してください。またその際は日付、時刻、税率、通貨レートを再設定してください。
- 本機はむだな電源消費を防ぐため、約7分間操作を行わないと自動的に表示が消えます(オートパワーオフ機能)。この場合は、●を押すと再び表示が現れます。

■ACアダプター(別売：AD-38II)で使用する場合

本機は、乾電池のほかに別売のキヤノン専用ACアダプター(AD-38II)を用いて、家庭用AC電源で使用することもできます。

警告

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。本機はコンセントから近い場所でご使用ください。

ACアダプター使用上のご注意

- 本機にはAD-38II以外のACアダプターを絶対に接続しないでください。火災あるいは故障の原因となります。
- 初めに必ず電源を切ってから、AD-38IIのプラグを本機のジャック部に差し込んでください。続けてAD-38IIをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
- AD-38IIをコンセントまたはジャック部から抜くときも、電源を切ってから行ってください。

！

本体裏面のRESETスイッチ

計算中にすべてのキーが動かなくなるなどの異常が発生した場合は本体裏面のRESETスイッチを先端の細いもので押してください。※リセット操作を行うと税率、通貨レートはクリアされます。再設定してください。

ご使用の前に

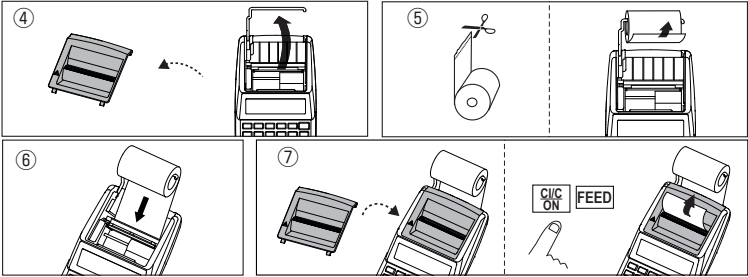


- ※ご使用の前には本書および本書の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- ※内容をご理解の上正しくご使用ください。
- ※お読みになったあとも本書を大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

ロールペーパーの取り付け

- 1) **プリンターカバーをスライドさせて取り外し**、アームを外側に立てます。(図④)
- 2) ロールペーパーの先頭を図のように切ってから、矢印の向きにアームに取り付けます。(図⑤)
- 3) ロールペーパーの先頭をペーパー挿入口に深く差し込みます。(図⑥)
- 4) **プリンターカバーを戻し**電源を入れた後、ロールペーパーがプリンターカバーのペーパーカッター部から出てくるまで●キーを押し続けます。(図⑦)

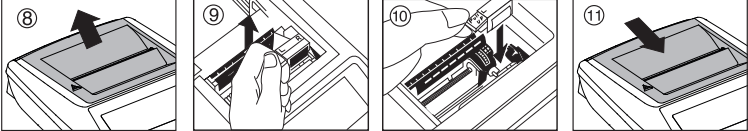
※使用ロールペーパー：普通紙 幅57-58mm、巻径 85mm以下



インクローラーの交換

必ず電源を切ってからインクローラーを交換してください。

- 1) プリンターカバーを矢印の方向にスライドさせて取り外します。(図⑧)
 - 2) インクローラーの左側(PULL UPの文字がある部分)を持ち上げ、インクローラーを取り外します。(図⑨)
 - 3) 新しいインクローラーをはめ込みます。(図⑩)
 - 4) プリンターカバーを元の位置に戻します。(図⑪)
- ペーパーカッターには鋭い部分がありますので、けがをしないよう気をつけてください。
 - インクローラーはCP-16 II をご使用ください。
 - インクローラー使用の目安はロールペーパー 8巻ほどです。その前でも印字が薄くなってきた場合は新しいインクローラーに交換してください。
 - 故障の原因となりますので、インクの注入はおやめください。



仕様

型式	：キヤノン P1-DTSC II
表示桁数	：液晶表示数字 12 桁
演算桁数	：置数、被演算数、演算数ともに 12 桁
印字桁数	：数字 12 桁、記号 2 桁、小数点 1 桁、3 桁每位取りマーク
印字速度	：約 2.0 行 / 秒
印字	：青 1 色印刷
使用ロールペーパー	：幅 57-58mm、巻径 85mm 以下
使用インクローラー	：キヤノン CP-16 II 型
電源	：単 3 形乾電池 x 4 本 または AC100-240V 50/60Hz 0.2A (別売り、AD-38II)
使用温度範囲	：0℃～ 40℃
外形寸法	：196 mm (奥行) x 99 mm (幅) x 40 mm (高さ)
重量	：234g (本体のみ)、304g (電池含む)
付属品	：単 3 形乾電池 x 4 本、インクローラー (CP-16 II) ロールペーパー 1 巻

- ・改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがあります。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。
キヤノン計算機ホームページ canon.jp/cal

●お問い合わせ窓口

キヤノンお客様相談センター 0570-04-0025

[受付時間] 平日・土 9:00 ～ 17:00

休業日: 日・祝日、1月1日～3日、12月31日

※上記番号をご利用頂けない場合は、03-6634-4273をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。 2025年6月現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 0570-04-0025

©CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2025 PRINTED IN CHINA

Canon

P1-DTSC II



E-IJ-1530

使用説明書

本機を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理をするようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

計算しましょう

・ 計算を始める前に、必ず  キーを押してください。

・キー指定のない計算例は、全て

5/4 B	2	PRINT
-------	---	-------

 に設定してあります。

計算例	操作	印字表示
混合計算 $(2+3) \times 4 - 5 = 15$ <div>加減算の途中で乗除算の割り込み、またはその逆に乗除算の途中で加減算の割り込みができます。</div>	<div>2 </div> <div>3 </div> <div>4 </div> <div>5 </div>	<div>0. C</div> <div>2. +</div> <div>3. X</div> <div>4. -</div> <div>5. =</div> <div>15.00 *</div>
$-2 \times 3 = -6$	<div>2 </div> <div>3 </div>	<div>-2. X</div> <div>3. =</div> <div>-6.00 *</div>
べき乗計算 $3^3 = 27$ <div> のあとに続けて を (n-1) 回押すと n 乗が得られます。</div>	<div>3 </div> <div></div>	<div>3. X</div> <div>3. =</div> <div>9.00 *</div> <div>9.00 =</div> <div>27.00 *</div>
定数計算 $2 + 3 = 5$ <div>下線部が定数になります。</div>	<div>2 </div> <div>3 </div>	<div>2. +</div> <div>3. =</div> <div>5.00 *</div>
$4 + 3 = 7$	<div>4 </div>	<div>4. =</div> <div>7.00 *</div>
$1 - 2 = -1$	<div>1 </div> <div>2 </div>	<div>1. -</div> <div>2. =</div> <div>-1.00 *</div>
$2 - 2 = 0$	<div>2 </div>	<div>2. =</div> <div>0.00 *</div>
$8 \times 3 = 24$	<div>8 </div> <div>3 </div>	<div>8. X</div> <div>3. =</div> <div>24.00 *</div>
$8 \times 4 = 32$	<div>4 </div>	<div>4. =</div> <div>32.00 *</div>
$6 \div 3 = 2$	<div>6 </div> <div>3 </div>	<div>6. ÷</div> <div>3. =</div> <div>2.00 *</div>
$9 \div 3 = 3$	<div>9 </div>	<div>9. =</div> <div>3.00 *</div>
逆数計算 $\frac{1}{7} = 0.14285714285$ <div> を続けて押すと逆数が求められます。</div>	<div>7 </div> <div></div> <div></div>	<div>7. ÷</div> <div>7. =</div> <div>1.000 *</div> <div>1.000 =</div> <div>0.143 *</div>
アド・モード計算 $\$12.55 + \15.75 $-\$5.30 = \23.00 <div>小数点位置: アドモード</div>	<div>1255 </div> <div>1575 </div> <div>530 </div>	<div>12.55 +</div> <div>15.75 -</div> <div>5.30 =</div> <div>23.00 *</div>
入力修正 $123 \times 455 = 67,158$ (546) <div>小数点以下2桁指定</div>	<div>123 </div> <div>455 </div> <div>546 </div>	<div>123. X</div> <div>546. =</div> <div>67,158.00 *</div>
切捨て計算 $11 \div 3 = 3.666666666666$ <div>四捨五入切替え: 切捨て</div>	<div>11 </div> <div>3 </div>	<div>11. ÷</div> <div>3. =</div> <div>3.66 *</div>
切上げ計算 $28 \div 3 = 9.333333333333$ <div>四捨五入切替え: 切上げ</div>	<div>28 </div> <div>3 </div>	<div>28. ÷</div> <div>3. =</div> <div>9.34 *</div>
四捨五入計算 $11 \div 3 = 3.666666666666$ <div>四捨五入切替え: 四捨五入</div>	<div>11 </div> <div>3 </div>	<div>11. ÷</div> <div>3. =</div> <div>3.67 *</div>
パーセント計算 $2,000 + (2,000 \times 12\%) = 2,240$ $2,000 - (2,000 \times 15\%) = 1,700$	<div>2000 </div> <div>12 </div> <div>2000 </div> <div>15 </div>	<div>2,000. +</div> <div>12. %</div> <div>2,240.00 *</div> <div>2,000. -</div> <div>15. %</div> <div>1,700.00 *</div>

計算例		操作		印字表示	
-----	---	----	--	------	---

時間計算

TIME CAL [～] 時間の合計を計算します。

TIME CAL 時刻の12時間表示と24時間表示を切替えます。12時間表示で時刻が午前のときは表示部に「AM」が表示され「•」が印字されます。午後のときは「PM」が表示され「••」を印字します。24時間表示のときは何も表示されずマークも印字もされません。

<p><例1:パートの1日の給与計算> 労働時間は10:30から22:15までで、時給は700円です。</p>		<p>0. C</p> <p>•10-30</p> <p>22-15</p> <p>11-45 =</p> <p>(1日の労働時間 11 時間 45 分)</p> <p>11.75 X</p> <p>700. =</p> <p>8,225.00 *</p> <p>(1日の給与額)</p>
<p>10:30 から 22:15 (24時間表示)</p> <p>時給700円</p>	<p>1030 ~</p> <p>2215 TIME CAL TIME CAL =</p> <p>X</p> <p>700 =</p>	
<p><例2:パートの1か月の給与計算> 労働時間は8:30から11:45までと1:00から5:30までです。勤務日数は1か月に20日、時給900円です。</p>		
<p>午前8:30 から11:45 (12時間表示)</p> <p>午後1:00から5:30</p> <p>勤務日数20日</p> <p>時給900円</p>	<p>TIME CAL</p> <p>830 ~</p> <p>11:45 =</p> <p>+</p> <p>100 TIME CAL ~</p> <p>530 TIME CAL =</p> <p>X</p> <p>20 X</p> <p>900 =</p>	<p>•8-30</p> <p>•11-45</p> <p>3-15 =</p> <p>3-15 +</p> <p>•1-00</p> <p>•5-30</p> <p>4-30 =</p> <p>7-45 *</p> <p>(1日の労働時間7時間45分)</p> <p>7.75 X</p> <p>20. X</p> <p>900. =</p> <p>139,500.00 *</p> <p>(1か月の給与額)</p>
<p><例3:パートの1日の給与計算> 労働時間は午前中4時間15分と午後3時間30分、時給1,200円です。</p>		
<p>4時間15 分(午前中)</p> <p>3時間30 分(午後)</p> <p>時給1,200円</p>	<p>TIME CAL</p> <p>415 +</p> <p>330 TIME CAL +</p> <p>=</p> <p>X</p> <p>1,200 =</p>	<p>4-15 +</p> <p>3-30 +</p> <p>7-45 *</p> <p>7.75 X</p> <p>1,200. =</p> <p>9,300.00 *</p> <p>(1日の給与額)</p>

※入力可能な「分」の値は0～59です。入力した値が59より大きいときはその分が自動的に「時」へ繰上がります。

※ 計算範囲は「-99時間59分から99時間59分」です。この範囲を超える入力や計算結果はオーバーフローとなります。

商売計算

COST	・ 原価、売価、粗利率のいずれか2つの数値を入力すれば残りは
SELL	・ 売価、粗利率のいずれか2つの数値を入力すれば残りは
MARGIN	・ 粗利率は「M%」、利益額は「M△」と表示されます。

<原価計算> 売価：2,000円 粗利率：30% 原価 = ?(1,400円) 利益額：600円	2000 SELL 30 MARGIN	2,000. * * 30. M % 1,400.00 C C 30. M % 600.00 M △
<売価計算> 原価：1,500円 粗利率：20% 売価 = ?(1,875円) 利益額：375円	1500 COST 20 MARGIN	1,500. C C 20. M % 1,875.00 * * 20. M % 375.00 M △
<粗利率計算> 原価：1,500円 売価：2,000円 粗利率 = ?(25%) 利益額：500円	1500 COST 2000 SELL	1,500. C C 2,000. * * 25.00 M % 500.00 M △

計算例 	操作 	印字表示 
---	--	--

通貨換算

設定： 5/4 B 2 PRINT EX

5/4 B→ DEC PRINT M→EX
 [\$] を押すと、表示されている数値を [\$] から [C1] または [C2] へ換算し
 ます。

または を押すと、表示されている数値を または から へ換算します。

<div><通貨レート設定></div> <div>\$ = 1 (USDドル)</div> <div>C1 = 114 (円)</div> <div>C2 = 0.9422 (ユーロ)</div>		<div><div>RATE SET</div><div>114</div><div>C1</div></div> <div><div>RATE SET</div><div>0</div><div>9422</div><div>C2</div></div>	<div>#1-----114. C =</div> <div>#2-----0.9422 C =</div>
<div>① 250USDドル = ? 円</div> <div>(28,500円)</div>	<div>250</div> <div><div>CHIC ON</div><div>\$</div><div>C1</div></div>	<div>0. C</div> <div>250.</div> <div>#1-----114.</div> <div>28,500.00 *</div>	
<div>② 360ユーロ = ? USDドル</div> <div>(382.05USDドル)</div>	<div>360</div> <div><div>C2</div><div>\$</div><div>C1</div></div>	<div>360.</div> <div>#2-----0.9422</div> <div>382.08 ◇ *</div>	
<div>③ 15,000円 = ? ユーロ</div> <div>(123.97ユーロ)</div>	<div>15,000</div> <div><div>C1</div><div>C2</div></div>	<div>15,000.</div> <div>#1-----114.</div> <div>131.578947368 ◇</div> <div>#2-----0.9422</div> <div>123.97 *</div>	
<div><通貨レート確認></div>		<div><div>RATE SET</div><div>C1</div></div> <div><div>RATE SET</div><div>C2</div></div>	<div>#1-----114. C =</div> <div>#2-----0.9422 C =</div>

※通貨レートは、1以上のときは6桁まで(12345.6など)、1より小さいときは8桁までの数値(0.1234567など)を設定できます。

ダブルチェック機能

ダブルチェック機能では、1回目の計算手順を保存して、今回の計算手順が1回目と同じかどうか確認することができます。

MODE **入力モードキー** : 1 回目の計算を始めるときに押します(入力モード)。キーを押すと表示部に“CHE”が表示されます。

START
CHECK **チェックモードキー**：今回の計算を始めるときに押します(チェックモード)。
キーを押すと表示部に“CHE StArt”が表示されます。今回の計算手順が1
回目と違った場合はそこで計算を終了します。

計算例：400+280-78=602		
<入力モード> (1回目の計算)	(入力開始) MODE 400 + 280 - 78 =	----- # # ----- 0. C* 400. + 280. - 78. = 602.00 *
<チェックモード> (今回の計算)	START CHECK 400 + 280 - 78 = (チェック開始) 400. + 280. - 78. = 602.00 *
(1)今回の計算手順が 1回目と同じ場合	(入力開始) MODE 400 + 280 - 78 =	----- (正しい入力するとき)
(2)今回の計算手順が 1回目と違う場合 400+280- <u>87</u> =593と入力	START CHECK 400 + 280 - 87 = (チェック開始) 400. + 280. - 87. = 593.00 * ----- (入力ミスするとき)

※ 入力モード(1 回目の計算)とチェックモード(今回の計算)のスイッチ設定は同じ設定にしてください。設定が違う場合下のメッセージが印字されます。

..001..(小数点スイッチの設定が違います。)

..002..(四捨五入スイッチの設定が遅つていま9。)

※入力モードに101回以上の計算手順があるとチェックモードへ移行することができません。E CHE St FULL が表示されます。

※ 入力モードで計算手順を保存して他の計算に移動するときは **[MODE]** を押します。この場合、***** が印字されます。
 チェックモードの途中で **[MODE]** を押すと計算を中止します。この場合 **000** が印字されます。

計算例		操作		印字表示	
-----	---	----	---	------	---

税計算





設定：

5/4 T	2	PRINT
-------	---	-------

5/4 B→T DEC PRINT

* 税率はどちらのキーを使用しても設定できます。

税抜キー：税率を確認したり、税抜額を計算するときに使用します。

<p><税率を設定> 税率 10% に設定 確認</p>	<p>RATE SET 10  RATE SET </p>	<p>10. % 10. %</p>
<p><税込計算> 例：税抜表示額 1,000 円の場合の 税込額、税額を求めます。 (税率は 10% に設定)</p>	<p>1000 </p>	<p>1,000. Δ + 10. % 100.00 Δ 1,100.00 *</p>
<p><税抜計算> 例：税抜表示額 1,100 円の場合の 税抜額、税額を求めます。 (税率は 10% に設定)</p>	<p>1100 </p>	<p>1,100. Δ - 10. % -100.00 Δ 1,000.00 *</p>

※税率設定のとき、8を入力すると8%、10を入力すると10%の税率を設定することができます。(任意の数字を入力して任意の税率を設定できます。)

メモリ計算

設定：

5/4 B	2	PRINT
-------	---	-------












5/4 B→T DEC PRINT

メモリプラスキー : メモリに数値または演算結果を加算します。

メモリマイナスキー: メモリから数値または演算結果を減算します。

$\begin{array}{r} 125 + 78 = 203 \\ -) 75 + 103 = 178 \\ \hline 25 \end{array}$	<div> <div> <div>125</div> <div>78</div> </div> <div> <div>75</div> <div>103</div> </div> <div> <div>(メモリ呼出し)</div> <div>(メモリクリア)</div> </div> </div> <div> <div> <div>125</div> <div>78</div> </div> <div> <div>75</div> <div>103</div> </div> </div> <div> <div> <div>MEM</div> <div>MEM</div> </div> <div> <div>MEM</div> <div>MEM</div> </div> </div>	<div> <div>0. C</div> <div>125. +</div> <div>78. =</div> <div>203.00 *</div> <div>203.00 M +</div> <div>75. +</div> <div>103. =</div> <div>178.00 *</div> <div>178.00 M -</div> <div>25.00 M ◇</div> <div>25.00 M *</div> </div>
---	---	--

データ（日付や整理番号など）を入れた計算

2017年3月20日 1,860円 1,420円 2017年3月21日 2,380円 +) 2,200円 <hr/> 7,860円	3  20  2017  1860  1420  3  21  2017  2380  2200  	#3・20・2017---- 1,860. + 1,420. + #3・21・2017---- 2,380. + 2,200. + <hr/> 7,860.00 *
---	---	--

オーバーフロー

Figure 1-1 illustrates error handling for overflow. It shows three states of a calculator display:

- Left Panel:** A division operation $550000000000 \div 23$ is performed. The display shows 12650000000000 . An arrow points to the display with the label "(オーバーフロー)" (Overflow).
- Middle Panel:** The same operation is shown, but the display shows an error code "E". A callout box states: "Eを表示して操作が停止します。C/C ONを押して解除してください。" (Display E and operation stops. Press C/C ON to cancel).
- Right Panel:** The same operation is shown, but the display shows the result 12.6500000000 . The text "(オーバーフロー)" (Overflow) is not present.